

青少年交換要覽



ROTARY INTERNATIONAL

本冊子は、「青少年交換要覧」(746-JA)の2008年版です。本資料の内容は、RI定款と細則およびロータリー章典に基づいています。規定審議会およびRI理事会で加えられたこれらの資料に対する変更は、本冊子に掲載された方針に取って代わります。

「青少年交換要覧」は、クラブと地区青少年交換委員長ならびに委員会が、青少年交換を計画し実施する際に役立てていただくための資料です。本資料には、以下の内容が収められています。

- クラブ、地区、プログラム参加者の役割と責務
- 学生の受け入れと派遣に関する詳細
- プログラムの推進と参加者募集に関するアドバイス
- 青少年交換プログラムを支援するためにRIが準備している資料

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために、安全な環境をつくり、維持するために努力している。ロータリアン、ロータリアンの配偶者、その他のボランティアは、最善を尽くして、接する児童や青少年の安全を守り、肉体的、性的、精神的虐待から彼らを保護しなければならない。

目次

1	青少年交換とは	1
	はじまり	1
	交換の種類	2
2	クラブおよび地区指導者の役割	3
	多地区合同青少年交換グループ	3
	地区ガバナー	3
	地区青少年交換委員長と委員会	4
	ロータリー・クラブ	7
	ロータリアン・カウンセラー	8
	国際ロータリー	9
3	青少年交換学生の派遣	11
	交換学生を募集するためのプログラムの推進	11
	学生の選考	11
	派遣地区の決定	13
	派遣交換学生のためのオリエンテーション	14
	保護者との協力	16
	学生とのコミュニケーションの維持	17
	学生と保護者への交換後の支援	17
4	青少年交換学生の受け入れ	19
	受入クラブの特定	19
	ホストファミリーの募集	20
	ホストファミリーの審査と選考	20
	ホストファミリーの組み合わせ	22
	ロータリアン・カウンセラーの選考	22
	学生との到着前のコミュニケーション	23
	受入交換学生のためのオリエンテーション	24
	交換中の支援	25
	早期帰国への対処	26
	交換終了	27
	補遺資料：青少年交換の資料	29
	用語集	31

青少年交換とは

異文化に接することは、国際理解と平和を推進する最も効果的な方法です。ロータリーの青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し、異文化を体験することによって、生涯にわたる国際理解の種を播く機会を多くの青少年に提供しています。

このプログラムは、参加する青少年と、青少年を受け入れるロータリアンや指導者のみならず、地域社会全体にも非常に多くの恩恵をもたらします。青少年交換を通じて、学生は他国での生活のあらゆる面をじかに学びます。世界に対する視野が広がるとともに、学生の自己に対する理解も深まっていきます。他国の教育制度を体験することによって、学生は学業面でも人間的にも成長を遂げます。さらに、異文化出身の学生との親密な交流を通じて、受入クラブ、ホストファミリー、そして地域社会全体も豊かになります。

はじめに

青少年交換は、1920年代、ヨーロッパの少数のクラブの間で始まりました。ヨーロッパでのこれらの交換は、第二次世界大戦まで続けられ、その後1946年に再開されました。1950年代には、この相互交換型で長期的かつ学問的な交換は人気を博し、ロータリー青少年交換の原型へと発展していきました。1972年、国際ロータリーの理事会は、価値ある国際的な活動として、世界中のクラブに青少年交換を推奨することに同意しました。今日、毎年8,000人以上の青少年交換学生が海外に渡り、およそ80カ国で生活し勉学に励んでいます。



交換の種類

ロータリー青少年交換には、3種類の交換プログラムがあります。

- **長期交換**：通常、1年間のプログラムで、交換学生は受入国で2つ以上のホストファミリーと生活を共にし、学校に通学することが義務づけられています。長期交換は、学年度の直前と直後の休暇期間の一部またはすべてを含めて、延長することができます。
- **短期交換**：このプログラムは、数日間から数週間のものまでさまざまです。学校が休みの期間中にしばしば行われ、通常、学業は含まれません。短期交換は、受入国の1つの家庭にホームステイをするのが一般的ですが、多くの国々の学生が集まる国際青少年キャンプまたはツアーとして実施することもできます。
- **新世代交換**：これは、18歳から25歳までの若者を対象に、3～6週間の滞在を行う短期の特別交換プログラムです。このプログラムには、職業訓練的な内容が含まれる場合もあります。

青少年交換プログラムには柔軟性があり、資格を有する学生のニーズに合わせて実施することができます。特に、短期交換と新世代交換は、地区によって大きく異なります。このため、本資料に収められたほとんどの情報は、長期交換プログラムを主に対象としています。

個々の地区プログラムや多地区合同プログラムに対し、RI理事会が規定する規則や指針に従う範囲で、独自の規則や指針を設定することができます。本資料は、地区で独自に作成した資料と付随して使用するものです。地区特有の事情とプログラムにかかわるロータリアンの責務の分担については、地区の青少年交換プログラム担当者と確認してください。

クラブおよび地区指導者の役割

ほかのすべてのロータリー・プログラムと同様に、ボランティアによる支援が成功の鍵となります。ロータリー青少年交換プログラムは、地区ガバナーの監督の下、地区レベルで運営されています。学生の派遣や受け入れに関心のあるロータリー・クラブは、地区レベルのプログラムを通じて参加しなければなりません。



効果的な青少年交換プログラムは、指導者の役割を務めるロータリアンの努力にかかっています。これらの指導者の役割は、プログラムの規模などに応じて、地区やクラブによって異なります。どの役割を担当する場合でも、指導者は全員、受入プログラムまたは派遣プログラムにおける自分の責務範囲について明確に理解しておく必要があります。以下は、それぞれの役職または活動における役割と責務についての概要です。

多地区合同青少年交換グループ

多くの地区は、多地区合同青少年交換グループを結成することに利点を見出しています。多地区合同青少年交換グループを結成することにより、管理運営面での任務が合理化され、参加地区に課される負担を軽減することができます。多地区合同グループの運営方法はそれぞれ異なりますが、多くのグループは、学生のための研修やオリエンテーションの企画、申請書やビザの手続き、航空券や保険の団体加入の交渉、特定地域でのプログラムの推進などを行っています。多地区合同青少年交換グループの全リストは、ウェブサイト (www.rotary.org) に掲載されています。既存の多地区合同グループへの参加、または新グループの結成に関心のある地区は、詳細についてRI担当職員までEメール (youthexchange@rotary.org) にてご連絡ください。

地区ガバナー

地区ガバナーは、青少年交換プログラムを監督し管理する責務があります。従って、プログラムの指針と地区の認定条件について把握しておく必要があります。地区ガバナーは、以下の任務を遂行します。

- 地区青少年交換委員長を任命する。
- 地区青少年交換委員会の任命を監督する。ガバナーは、継続性を維持するために、青少年交換委員会の委員を一度に50パーセント以上を交代させないよう奨励されている。また、プログラムについてよく理解してもらうために、ガバナー・エレクトあるいはガバナー・ノミニエーを青少年交換委員会に任命するよう奨励されている。
- 青少年交換活動が適切に実施されるようクラブと地区のプログラムを支援し監督する。
- 問題が起きた際に対処し、クラブまたは地区委員長に代わって、相手地区の地区ガバナーと連絡を取る。

責務の委任

地区の青少年交換プログラムの仕組みによっては、地区青少年保護役員または多地区合同青少年交換グループが活動の一部を運営することもできます。

任務期間

RI理事会は、委員長の任期を一人3年間までに限定するよう奨励していますが、青少年交換プログラムには特別な専門知識や経験が必要とされていることから、後継者に十分な研修を行うために任期を延長することが時に必要となります。

地区青少年交換委員長と委員会

地区委員長は、地区内で青少年交換活動の調整と推進を行い、国際ロータリー、地区ガバナー、ならびにクラブと連絡を取り合います。地区ガバナーと相談の上、地区委員長は地区委員会を任命し、各委員それぞれの責務を決定します。地区委員会の規模は、地区プログラムの規模によって異なります。委員1名が、障害者に交換への参加を奨励し支援する責務を担うことが奨励されています。

地区青少年保護役員が任命されていない場合、委員1名が、青少年保護に関する方針と青少年交換プログラムの手続きの管理を担当します。この委員には、青少年保護、社会福祉、法律、またはその他の同様の分野に精通している人を選ぶようにします。

委員の責務

1. ロータリー・クラブと協力して、以下を行う。
 - クラブ青少年交換委員会を研修する。
 - 受入学生と派遣学生への期待事項を定める。
 - クラブの青少年交換活動の充実化を援助するために、ロータリーのリソースに関する情報を提供する。
 - プログラムのあらゆる面において学友を関与させ、青少年交換の学友グループ「ROTEX」の活動を企画するようクラブに奨励する。
2. 青少年交換プログラムにおける以下のような青少年保護活動の調整を図る。
 - ホストファミリー、学生、成人のボランティアを研修する。
 - 委員、ホストファミリー、ロータリアン・カウンセラーとその他の人々（ただしこれらに限らない）を含む成人のボランティア全員を審査する。これには、青少年と活動するボランティアとしての適性を判断するための面接や、ボランティアが青少年ボランティア誓約書へ記入したことの確認、警察の犯罪歴記録の確認や照会を含む経歴照会を行うことも含む。
 - 性的虐待あるいはハラスメント（嫌がらせ）を自ら認めた、または有罪を宣告された、あるいはそれに関与したと認められたボランティアを、ロータリーが関係する青少年活動に参加させないようにする。
 - 青少年交換学生のために地区認定条件のすべてを満たす支援体制をつくる。
 - 虐待またはハラスメント申し立てがあった場合に学生を支援するための手続きを、あらかじめ定めておく。これには、申し立てのあった加害者とロータリー・プログラムに参加する青少年との接触を断つこと、学生を移動させる際の基準を確立すること、臨時宿泊施設を見つけること、支援を提供することなどが含まれる。
3. 派遣に関して以下を行う。
 - 海外の地区と関係を築き、学生の受け入れ先を決めるために連絡を取る。
 - クラブが学生を選考するのを助ける。

- 学生と保護者のためのオリエンテーションを提供する。
 - 学生のために、旅行やビザの手配をすべて整える（地区に代わって多地区合同グループが行う場合以外）。
 - 学生、保護者、旅行代理店の間で連絡役を務め、交換の旅程を立てる。
 - 海外に滞在中の学生から送られた報告書に目を通し、何か異常が報告された場合には措置を取る。
4. 受け入れに関して以下を行う。
- 地区の受入ロータリー・クラブと学生の派遣地区との間の連絡役を務める。
 - 学生のために、旅行やビザの手配をすべて整える（地区に代わって多地区合同グループが行う場合以外）。
 - 学生の到着後にオリエンテーションを実施する。
 - ホストファミリーの選定とオリエンテーションの実施においてクラブを援助する。
 - 到着する学生を地元の空港で出迎える。また出発便を手配する。
5. 危機管理方針を定め、危機管理対策を実行する。
- 早期帰国、虐待またはハラスメントの申し立てなどを含む事態に対する報告手続きと対応策を定め、地区の申し立て報告の指針についてすべての成人のボランティアに説明する。
 - プログラムの必須要件を満たさない学生、成人のボランティア、その他の参加者をプログラムから排除するための指針を設立する。性的虐待あるいは嫌がらせの申し立てを受けたロータリー青少年プログラムに関与するいかなる成人も、問題が解決するまでは、ロータリー・プログラムに参加する青少年との一切の接触を断たなければならない。
 - 自然災害、社会情勢または政情不安などの緊急事態に対する危機管理手続きを確立する。
 - 緊急事態に備えて、代替りのホストファミリーを見つけておく。
 - 受入学生のために必要な保険と、地区プログラムのために必要な一般損害保険の水準を定める。受入地区とともに補償範囲と保険会社を取り決める。保険の加入手続きにおいて派遣学生を助ける。



6. RIの方針に沿った地区プログラムの指針と学生のための規則を定める。
7. 地区やクラブのウェブサイト、広告やニュースの記事を通じて、青少年交換プログラムを地区全域に推進する。
8. 学生、ホストファミリー、カウンセラー、クラブおよび地区役員を含むプログラム参加者全員の間での効果的なコミュニケーションを維持する。
9. 以下についてRIへ報告を行う人を1名（通常は地区委員長）任命する。
 - 事故、死亡、早期帰国、犯罪等、学生にかかわるすべての深刻な事態と虐待やハラスメントの申し立て。報告は72時間以内に行う。
 - 成功談、交換に関する興味深いアイデア、学友と関連した有意義な体験、ロータリーの出版物とRIのウェブサイトに掲載できそうなその他の活動。
 - プログラムの年次評価書。
 - 各学生の情報。ロータリー青少年交換プログラム申請書に含まれる保証書式を使って学生が到着する少なくとも1カ月前に報告する。学生がホストファミリーを変更した際には、新しいホストファミリーの情報をRIに報告しなければならない。

青少年交換プログラムに参加するためには、地区はRIより認定されなければなりません。この認定プログラムは、以下のような青少年保護に関する必須条件やプログラムの運営におけるベストプラクティスを確立することによって、学生の安全を確保するものです。

- 「青少年と接する際の行動規範に関する声明」の採用、ならびに地区の虐待とハラスメント防止に関する方針、あるいは青少年保護に関する方針の作成。
- 青少年交換プログラムの法人化あるいは同等の合法的な組織／団体化。
- 地区の所在地において適切な補償額と限度額を備えた一般損害保険への加入。
- 地区プログラム外で企画されたクラブ間の交換の禁止。



法的責任

クラブと地区は、青少年交換活動を実施する前に、法的責任に関する問題について弁護士に相談するよう強く奨励されています。

青少年交換認定プログラムは、地元の法律や状況によって所定の要件を満たすことができない地区のために、柔軟な姿勢をとっています。場合によっては、多地区合同青少年交換グループが、地区が認定要件を満たせるよう援助してくれることもあります。認定に関する資料はすべてウェブサイト (www.rotary.org) に掲載されています。

ロータリー・クラブ

青少年交換プログラムは、地区ガバナーの監督の下に地区レベルで運営されていますが、学生の派遣と受け入れのための効果的な支援体制を築きあげるには、ロータリー・クラブ、ロータリアンとその家族、地域社会の人々の参加が非常に重要となります。すべての会員は、クラブ青少年交換委員会委員、ホストファミリー、ロータリアン・カウンセラーとなるなどして、青少年交換活動に参加するよう努めるべきです。

交換に参加する各クラブは、以下の責務を担います。

- 地区のプログラムとクラブの青少年交換活動との調整を図り、クラブの活動がRIと地区の方針を遵守していることを確認する。
- 地区青少年交換会合に出席する。
- 学生に対するクラブの期待事項を定める。
- オリエンテーション、または地区大会など義務づけられた行事に学生が出席していることを確認する。
- プログラムを改善するために学生から意見を聞く。
- 学生に関する問題または懸念事項について地区青少年交換委員長に通知する。

派遣学生のために、

- 地域社会の学生にプログラムを推進する。申請書式を提供し、クラブレベルでの学生の選考を調整する。
- 交換のための候補者を面接し、選考する。
- 各学生にロータリアンのカウンセラーを指定する。
- 地区派遣コーディネーターと連絡を取り合う。

受入学生のために、

- 受入学生が到着する前に、関係を築き連絡を取り合う。
- 空港または駅で学生を出迎える。
- ロータリー・クラブならびに長期交換中に学生が通学する学校との間で連絡役を務める。
- 各学生にロータリアンのカウンセラーを指定する。
- ホストファミリー候補の面接と審査を行う。
- 地区受入コーディネーターと連絡を取り合う。
- 長期交換学生のために、毎月の小遣いを支給する。
- ホストファミリーの選考とオリエンテーションを調整し、学生の交換期間中を通じてホストファミリーとの連絡を維持する。

これらの責務は、クラブ会長、クラブ青少年交換委員会と委員長に以下のように分担されます。

- **クラブ会長**は、以前に青少年交換を経験したことのあるクラブ青少年交換委員長を任命します。クラブ会長はまた、クラブ委員会の選考を監督し、クラブの青少年交換活動を援助します。
- **クラブ青少年交換委員長**は、長期と短期の交換学生の派遣と受け入れに関連するすべての活動を計画、実施、支援します。
- **クラブ青少年交換委員会**は、委員長の指示に従い援助を提供します。この委員会の規模と活動範囲は、クラブの規模とクラブがどの程度プログラムにかかわっているかによって異なります。

ロータリアン・カウンセラー

学生、ロータリー・クラブ、ホストファミリー、地域社会全体の間で連絡役を務めるロータリアン・カウンセラーは、青少年交換プログラムの成功において非常に重要な役割を果たします。ロータリアン・カウンセラーは、ロータリーにおいて学生の主な連絡役を担当し、年度を通じて定期的に学生と直接連絡を取ることで、学生が留学国と地域社会に溶け込めるように支援します。

ロータリアン・カウンセラーには、青少年との活動を楽しみ、交換中に何か問題が起きた場合には、学生に代わって弁護する心構えのある人を選びます。学生のホストファミリーのメンバーは、ロータリアン・カウンセラーとなる資格がありません。また可能であれば、当該学生に関与するボランティア（例えば、学校長、ホストファミリーなど）の親しい友人または親戚をロータリアン・カウンセラーとして選出することは避けます。

そのほかに、ロータリアン・カウンセラーには以下のような責務があります。

- 学生の出発または到着前に連絡を取り、クラブや地区が期待する事柄について説明する。学生と定期的に連絡（少なくとも月1回）を取り、それを記録する。
- 授業の選択、友人づくり、課外活動への参加などについて、学生の相談にのる。
- 学生が文化や言語に慣れるように援助する。
- 地域社会や学生の学校と協力し、学生が前向きな活動に参加して地域の生活に溶け込めるようにする。
- 学生に虐待やハラスメントの予防について説明し、学生がどのような心配事も安心して話すことができるような協力的な環境をつくる。
- どのようなことに関しても学生の擁護者となる。

ロータリアン・カウンセラーは、虐待やハラスメントの申し立てを含め、交換中に起こりうる問題や懸念に対処するための研修を受けるべきです。すべての交換プログラムに参加する派遣学生と受入学生それぞれにロータリアン・カウンセラーを任命します。派遣側カウンセラーは交換に向けて学生の準備を整え、学生の留学中は定期的に連絡を取ります。

国際ロータリー

青少年交換プログラムは地区により実施され、交換の手配はすべて地元のロータリアンが行います。RI事務局は、青少年交換にかかわるロータリアンに以下のような支援を提供します。

- 交換学生候補者から寄せられた問い合わせを地区委員長とクラブ会長に転送する。
- 更新された地区青少年交換委員長一覧表ならびに多地区合同役員名簿を各四半期に提供する。
- 世界中の青少年交換委員長の間でのコミュニケーションを援助する。
- ロータリアンが使用するための推進用資料を作成し、青少年交換の記事を新聞やその他の出版物に掲載する。
- ほかの交換組織や規制機関と協力する。
- RI国際大会に付随して開かれる年次会議をRIの青少年交換委員会が計画するのを援助する。
- 青少年交換活動の年次報告書を作成し、地区および多地区合同青少年交換委員長に配布する。
- 地区認定プログラムを管理し、RIの青少年保護方針が順守されるよう監視する。
- 青少年交換プログラム中の虐待やハラスメント、その他の緊急事態の報告に地区や合同地区が対処するのを援助する。



青少年交換役員大会前会議

青少年交換役員大会前会議は、RI国際大会の直前に開かれ、公式大会プログラムの一部となっています。会議の内容は、クラブ、地区、多地区合同レベルの青少年交換役員のためのもですが、青少年交換学生を含むすべての国際大会参加者が登録することができます。

青少年交換委員会

国際レベルでは、青少年交換に関するあらゆる側面に関して理事会に助言を与え、青少年交換役員大会前会議の内容を立案する青少年交換委員会をRI会長が任命します。ロータリアンは、助言や意見を求めるためにこの委員会の委員に連絡を取ることができます。委員会委員の連絡先は、「Official Directory (公式名簿)」に記載されています。



青少年交換学生の派遣

青少年を交換学生として派遣する手続きは、学生が出発するはるか前に始まり、学生が帰国するまで続きます。派遣プログラムに關与するロータリアンは、参加候補者を募集するためにプログラムを推進し、適切な候補者を選考するほか、学生の留学先を決め、学生と保護者のためにオリエンテーションを実施します。交換中は、学生と連絡を取り合い、学生とその家族が交換後の生活に適應できるよう支援します。

交換学生を募集するためのプログラムの推進

最も優秀な候補者をプログラムのために選べるよう、資格を備えた青少年に青少年交換プログラムを幅広く広報してください。クラブまたは地区の申請と選考手続き、ならびにオリエンテーションの年間予定表に基づいて、プログラムを推進するのに最適な時期を特定しましょう。

参加者の募集には、高校が非常に適した場所です。青少年交換ポスター（751-MU）を貼ることを学校当局から事前に承認してもらい、関心のある学生にロータリアンが話をする許可を求めます。集まった学生、保護者、教師に話をする際には、パンフレットの「青少年交換：世界を前進させる力」（755-JA）と「世界観を広げよう：短期青少年交換」（756-JA）を持参しましょう。関心のある学生が連絡を取れるよう、パンフレットに連絡先を記載しておきます。地域社会では、青少年グループ、スポーツクラブ、文化的な団体に対してプログラムを推進するとよいでしょう。地域社会で障害のある学生に支援を提供しているボランティアの人々にプログラムについての情報を提供しましょう。

幅広い人々に広報するため、学校新聞をはじめ、地元の報道機関にプレスリリース（報道記事）を送ったり、青少年交換プログラムについて地元のラジオやテレビ局に公共奉仕広告を放送してもらいます。現在、クラブまたは地区が交換学生を受け入れている場合には、人々の関心を引くような記事を地元の新聞社に送ります。図書館、公民館、ショッピングセンター、またはその他の公共の場所にブースを設け、青少年交換についての質問に答えたり、資料や申請書を配布するのも一案です。RIのウェブサイト（www.rotary.org）やクラブまたは地区のウェブサイトへのリンクを設けた青少年交換プログラムのウェブサイトを立てることもできます。

プログラムを推進する際には、交換から得られる文化的、教育的な恩恵や、ロータリー・プログラムの特色について強調します。地元のPTA（保護者と教師の会）または学校の委員会で、元青少年交換学生または現在の交換学生によるスピーチを企画し、プログラムを推薦してもらいます。募集をする際には、地区でインターアクトやロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）に参加している青少年にも忘れずに声をかけてください。関心を持つ学生から寄せられた問い合わせに対応し、これらの問い合わせは、RIが地区委員長に転送してください。

学生の選考

経験豊富なロータリアンに、学生や保護者から寄せられたすべての問い合わせに答えてもらいます。プログラムに関心があり、以下の基本的な要件を満たしているすべての学生に、プログラムに申請する機会を与えましょう。

資格要件

適切な年齢（交換時）

- 長期交換プログラムの対象年齢は15～19歳の間で、交換が行われる国の法律によって異なります。交換学生候補者の年齢は、この年齢範囲内で交換が最終的に決定される前に定められ、派遣側と受入側の両地区の国の法律と規則に従い、派遣地区と受入地区が同意する年齢とします。プログラムによっては、学生の年齢が15歳以上または19歳以下でなければ参加できないものもあります。
- 新世代交換プログラムの対象年齢は、18～25歳となります。
- 短期交換プログラムの対象年齢は地区が定めます。
- その他の年齢制限も地区が定めます。
- 平均以上の学業成績
- 明確かつ効果的な自己表現力
- 地域社会で指導力を発揮した経験

障害のある学生

ロータリー・クラブと地区は、障害のある学生を候補者として検討するよう奨励されています。障害のある学生が参加した多くの交換は、これまでに成功を収め、交換に関与したすべての人々に恩恵をもたらしたことを証明しています。

その他の検討事項

- 居住地（派遣地区内に居住していること）
- 適応性（外交的である、自信にあふれている、異なる環境に順応する意欲がある）
- ロータリーの優れた親善使節としての資質
- 保護者の絶対かつ限らない支援
- 受入国の言語に堪能であること、または受入国の言語を学ぶ能力

青少年交換学生の選考：

1. プログラム規定が記載された署名入りの遵守声明を含む申請書に記入するよう学生に要請します。多くのクラブや地区は、完全な申請書を要請する前に簡単な事前選考用紙を配って申請者の枠を絞っています。すべての長期（1学年度）交換プログラムに、「長期青少年交換プログラム申請書」（761-JA）を使用するよう推奨されています。適切な申請書式については、地区の資料を参照してください。
2. クラブと地区レベルで、申請者と両親あるいは法的保護者を交えた個人面接を行います。面接には、以下の内容を含めます。
 - 学生が母国や家族から離れて暮らすことに対する思い
 - 世界のニュースや問題に対する意識
 - プログラムの規則に対する態度
 - 学生が、市町村、国、派遣ロータリー・クラブを代表して親善使節となることについての考え

- 交換の目的に対する認識
 - 質問の例が、ウェブサイト (www.rotary.org) に掲載されています。このほかに面接の一部として学生に自己紹介のスピーチを行ってもらったり、青少年交換学友との非公式な質疑応答の時間を設けたりすることも可能です。
3. 申請書の審査と面接の実施後、以下の基準に従って学生を選考します。
- 成熟度
 - 良識を働かせる能力
 - ロータリーのプログラムの目的との適合性
 - 健全な精神と肉体
 - 地区が支援できる学生の数。資格ある申請者の数が少なかった場合、無理に派遣学生枠をすべて埋めるために、留学中に苦心する可能性のある学生を派遣することは避けます。学生がプログラムに参加できない事態に備えて、補欠交換学生を選考します。

学生が選考され、地区より参加が承認されたら、学生とその保護者に書面で通知します。通知に、最終的な承認前のその他の要件 (例えば、オリエンテーションへの参加、手数料の支払い) に関する概要と、予定表や受入国が決定される日付も記載します。

派遣地区の決定

派遣学生が選考されたら、予測可能な受入地区数に基づいて、地区青少年交換委員会または多地区合同グループと協力して学生の派遣地区を決定します。長期的な交換関係を築いている地区では、学生の派遣先が効率的に決まるだけでなく、交換中の学生に対する支援体制も充実している場合が多くあります。



地区がほかの地区と交換関係を築いていない場合、または新たに関係を築くことを希望する場合は、RIの地区青少年交換委員長一覧表と多地区合同役員名簿を利用して、学生の派遣を希望する地区または国の適切な連絡先を探すことができます。多地区合同役員の場合、地区委員長の連絡先ではなく各地域の連絡先が記載されていることがほとんどなので、名簿には慎重に目を通します。受入地区が認定されていることを確認し、問い合わせに迅速に返答してもらうようにします。

地区が学生の派遣先を決定したら、参加地区とクラブの青少年交換役員、学生、学生の保護者が署名するための同意書を作成します。「長期青少年交換プログラム申請書」(761-JA) に取められている保証書を基本的な同意書として使用することができます。同意書には、交換に関する地区の予測事項(例えば、交換期間、ホストファミリーの数)とすべての適切な連絡先を必ず記載します。

学生が出発する前に、受入側の相手地区と連絡を取り合います。学生の旅程や到着日を関係者全員に伝えます。空港での学生の出迎えや、最初のホストファミリー宅への入居を手伝うことについて、受入地区に尋ねます。学生が安全に到着したら確認の連絡をするよう求めます。

派遣交換学生のためのオリエンテーション

派遣交換学生のためのオリエンテーションは、交換体験に向けて学生の準備を整えるにあたり非常に重要となります。また、その形態もクラブまたは地区によって幅広く異なります。多地区合同グループの一部であるロータリー青少年交換プログラムの場合、より大規模なオリエンテーションプログラムに参加できるという利点があります。オリエンテーションは、出発する前の年度を通じて継続的に行います。これには、週末の集会や短い会合も含めます。学生に受入国に関する資料を渡し、インターネットを使って受入国についてさらに学ぶよう奨励します。このような形で余裕を持って徐々に学生に情報を与えていくことによって、学生は大量の情報を吸収し、処理していくことができます。虐待とハラスメント防止研修は、すべての学生とその保護者に義務づけられています。



派遣交換学生のためのオリエンテーションには、以下の内容を含めます。

プログラムに関する情報

- 規則と規定
- 旅行に関する制限
- 財務事項
- 参加者の役割と責務
- ロータリーの基本的な情報
- 予算 (手当て／支給金とその他の費用)
- 派遣地区の地区委員長、地区ガバナー、クラブ会長、ロータリアン・カウンセラーの連絡先

果たすべき任務

- クラブ例会でのスピーチに関するアドバイス (例:スライド、写真、母国の地図の持参)
- 母国との連絡
- ロータリーの親善使節としての役割

文化についての心構え

- 受入クラブとカウンセラーの役割
- ホームシック
- 適応能力と異文化への寛容性
- 語学研修
- ホストファミリーに関する情報とホストファミリーへの質問例
- 異文化に対する心構えと受入国についての研究
- 贈り物の贈呈

その他

- 交換学生となることについて (現在受け入れている学生または元交換学生に簡潔に説明してもらう)
- それぞれ異なるロータリー・クラブについて
- 文化に関する模擬体験ゲーム
- 文化に対する独自の期待事項や想定事項を理解することについて

保護者は、青少年交換役員、旅行代理店、学友、ほかの保護者と話をするためにオリエンテーションに出席するべきです。また学生は、これから留学する国で既に学んだ経験を持つ学友と極力話をするよう奨励されています。

安全面

- 虐待とハラスメント予防に対する認識についての研修 (必須)。報告についても説明する。
- 特定の性に関してのグループ別のセッション。慎重に取り扱わなければならない問題 (摂食障害、性的ハラスメントなど) を話し合う。1つの部屋の中で、学生を留学国か留学地域別のグループに分けて行うとよい。
- 24時間連絡することのできる地区の電話番号とロータリアン以外の支援提供者2名 (男性、女性各1名) の連絡先

旅行に関する情報

- パスポートやビザに関する情報
- 旅費
- 保険、健康管理に関する話し合い
- 荷物や荷造りなどについてのアドバイス
- 青少年交換ブレザー

保護者のためのその他の情報

- 保護者のみを対象とした会合。交換学生の保護者としての課題、留学中の学生の訪問、学生の帰国に際して知っておくべきことについて話し合う。

理想的なオリエンテーションは、派遣学生と学友の間での十分な話し合いの時間が設けられているオリエンテーションです。可能であれば、受入中の学生にもオリエンテーションに参加してもらいます。

候補者は、このオリエンテーションを終了するまでは交換学生として認められません。このことを学生と両親または法的保護者に伝えます（面接では好印象を与えることができて、通常は人との交流がうまくできない候補者も、稀にいます）。保護者と学生が、計画されている交換がどの時点で最終的に決まったことになるのか、また保護者と学生ならびに受入地区に課されるその他の要件について理解していることを確認します。このオリエンテーションは、与えられた情報に対する学生の反応と、学生がほかの学生やロータリアンとどのように接触するかを観察するのに格好の機会です。

学生は、自分と対等だと思える人々となら、打ち解けて交流できる傾向にあります。従って、最近帰国したばかりの学生、または青少年交換の学友グループ (ROTEX) の学生をオリエンテーションに参加するよう招くことを検討しましょう。こういった交流を通じて、候補者が交換に適しているかどうかについて、ROTEXの学生が貴重な意見や感想を述べてくれることがよくあります。

保護者との協力

学生の保護者による絶対的な支援は、交換前、交換中、交換後において極めて重要です。派遣学生の保護者は、選考手続きやオリエンテーションに参加し、以下の点について十分に情報を与えられなければなりません。

財政的義務と保険

パスポートとビザにかかる費用を含め、すべての旅費は保護者の負担となります。保険加入義務について（受入国により義務づけられているその他の要件も含めて）もれなく説明します。緊急用資金の目的についても説明します。

保険

保険に関しては、事故によるけがおよび疾病に対する、医療および歯科治療、死亡の場合（遺体の本国送還を含む）、身体障害／四肢切断の場合（現金給付とも呼ばれる）、緊急医療移送、緊急訪問費用、24時間緊急援助サービス、法的賠償責任（学生のいかなる行為または青少年交換プログラムに関連する不作為を補償する）に適用される旅行保険への加入を義務づけるべきです。学生の保護者の随意で、取消料、所有物遺失、現金遺失、誘拐および身代金のための保険に加入することもできます。補償額は、受入クラブと地区、ならびに派遣クラブと地区が十分と認める額でなければならず、学生が母国を出発する時点から帰国する時点までの期間に有効なものでなくてはなりません。

学生に対する規則

青少年交換プログラムの規則と規定について説明し、保護者と学生がそれらに書面で同意するよう要請します。保護者が、保護者自身や学生に適用される規則（例えば、交換中の旅行や連絡に関する制限）を含むプログラムの規則について認識していれば、規則を違反したり、学生に違反行為を促すというようなことが少なくなります。

両親の訪問

交換中に学生を訪問することは控えるよう保護者に伝えます。交換を体験するのは学生であり、保護者の訪問は、ホームシックやその他の悪影響を引き起こす可能性があることを保護者に説明します。保護者が訪問を計画している場合、交換の最後の2カ月間のみを訪問を限り、祭日中は、ホストファミリーがほかの計画を立てている可能性があることから極力避けるよう強調します。訪問には、受入地区とクラブ両方からの事前の承認が必要となります。

学生との連絡

学生と定期的に連絡を取るよう保護者に奨励します。定期的に連絡を取ることで、保護者は学生が体験していることを常に把握し、好ましくは、学生が経験している変化や成長を理解できるようになります。Eメールを利用すれば、経済的であるほか、母国と受入国との時差に関係なく学生と保護者が連絡を取り合うことが可能になります。交換が開始された最初の1カ月間は、学生が無事に到着し順調に適応しているかどうかを知る必要性と、学生がカルチャーショックを克服し、新たな環境に馴染んでいくタイミングを見計らいながら学生との連絡を保つよう努めるべきです。

学生の帰国に備える

逆カルチャーショックは、交換留学の過程においてしばしば見過ごされがちな一面であり、保護者がこれに対処する準備を整えておくことが重要です。交換中に定期的に連絡を取ることで、保護者は学生が帰国後に元の生活に慣れていく過程に対処しやすくなります。保護者の生活は基本的には変わらなくても、学生は交換中に大きな変化を体験していることを保護者に説明しておきます。

最もよく生じる問題のひとつとして、学生が新たに身につけたばかりの独立心によるものが挙げられます。例えば、学生が交換前まで長い間従ってきた規則が、交換後には束縛的に感じられるということがしばしばあります。保護者が、学生が体験した変化について理解し、学生とともにそれらの変化を消化してその後の関係を築いていくことが大切です。

学生とのコミュニケーションの維持

クラブと地区は、交換中に学生とのコミュニケーションを図るために可能な限りを尽くすべきです。派遣クラブと地区に加えて両親や友人にも手紙を書くよう学生に奨励します。手紙で留学先での経験について知らせることによって、学生が体験している変化や、学生が学んでいる新たな生き方について十分に理解してもらえるようになることを学生に伝えます。

各学生と報告手順を決めます。少なくとも四半期に1度、指定されたロータリアンに交換についての最新情報をEメールで報告するよう学生に求め、これらの報告をクラブまたは地区のウェブサイトに掲載します。学生全員が、地区の緊急連絡先を知っていることを確認します。

学生と保護者への交換後の支援

逆カルチャーショックへの対応を支援するために、帰国した学生とその保護者を対象にした報告会議を開きます。交換後の評価を実施します。

青少年交換学生の受け入れ

青少年交換学生を受け入れることによって、地域社会のロータリアンのみならずロータリアン以外の人々も、母国にいながらにして実際に海外に旅行したかのような体験をすることができます。交換学生の受け入れに支援を提供する地元の学生や地域社会の人々は、その体験から自らも恩恵を受けます。交換にかかわるすべての人々にもたらされる恩恵は計り知れないものですが、学生を受け入れることには受入クラブならびに地区のロータリアンの膨大な時間が必要とされます。

交換体験をできる限り有意義なものとするため、受入クラブと地区は学生のためにホストファミリーを選び、ロータリアン・カウンセラーを任命するほか、受入交換学生のためのオリエンテーションを企画したり、学生のための効果的な支援体制を確立するなどの責務を担います。交換期間中を通じて、受入クラブと地区は学生と定期的に連絡を取り、学生を社交行事や文化的な行事に招き、深刻な問題が起きたときには直ちに対処します。

さらに受入クラブと地区は、受入学生のビザ取得手続きを助け、空港での出迎えを手配し、必要であれば地元の学校まで出向いて入学と授業料の支払い手続きを行います。

受入クラブの特定

各地区には、交換学生の受け入れに適したクラブが存在します。地区青少年交換委員会は、ガバナーおよびガバナー補佐と協力して、交換プログラムに関心があり受入学生を支援する能力のあるクラブを特定します。地区委員会委員は、学生を受け入れることに決めた場合にクラブが実際費やさなければならない時間を推定してクラブに伝えるべきです。受入クラブは、ホストファミリーとロータリアン・カウンセラーを募集し、審査と研修を行う意欲に満ちたクラブでなければなりません。



ホストファミリーの募集

長期交換学生は、交換中に2つ以上の家庭でホームステイをすることを義務づけられており、3つの家庭でホームステイをすることが望ましいとされています。

責任感が強く、海外の若者を自らの家で受け入れることに興味と意欲のある家庭が最も適したホストファミリーです。ホストファミリーはロータリアンの家庭である必要はありません。実際、青少年交換に関与したことがきっかけでロータリーへの入会に関心を持った人々が多くいます。交換候補学生にプログラムを広報する際に用いたのと同様の多くの方法（第3章を参照）を用いてホストファミリーを募集することができます。

ホストファミリー候補を探す際のアドバイス

- 資格を備え、青少年交換学生の受け入れに関心があると思われるロータリアン以外の家庭を推薦するようロータリアンに求める。
- 学生を受け入れるようロータリアンに奨励する。配偶者が出席する会合中に募集について呼びかけるか、学生を会合に招き学生が多くのクラブ会員と対面した後に行うとよい。
- 青少年交換学友の家族にホストファミリーとなってもらよう求める。これらの家族は、自分の子供に提供してもらった機会を理解しているため、プログラムの参加に関心を持っていることが多い。
- 地域に住む家庭で、ホストファミリーにふさわしいと思われる家庭を青少年交換学友に尋ねる。
- 地元のPTA（保護者会）を対象に、青少年交換プログラムについてプレゼンテーションを行う。ホストファミリーとなることに興味があるかどうかを出席者に尋ねる。
- これまでに学生の受け入れを成功させたことのある家庭に、地域に住むほかの家庭で学生の受け入れに関心を持っている家庭を推薦してもらう。
- 青少年交換学生との連絡を維持する。学友は、最適なホストファミリーのみならず将来のロータリアン候補者となる可能性がある。

ホストファミリーの審査と選考

学生の受け入れについて問い合わせしてきた家庭に、問い合わせを受けたことを確認する通知と、ホストファミリー申請書、ウェブサイト（www.rotary.org）からダウンロードできる青少年ボランティア誓約書を送ります。申請書を審査しホストファミリーとの面接を行う際には、責任感が強く、意欲に満ち、保護者としての責務を適切に果たすことができる家庭を見つけ出すよう努めます。年齢の低い子供のいる家庭、交換学生とほぼ同年齢の子供のいる家庭、子供がいない家庭など、さまざまな構成から成る家庭を選択肢として特定します。これらの家庭はどれもホストファミリーに適しています。部屋と食事を提供することにしか関心のない家庭は避け、地域社会のさまざまな活動に学生を参加させることにより、充実した交換体験となるよう積極的に努めていく意欲のある家庭を探します。

相互型の受け入れ

子供のプログラムへの参加条件として、派遣長期交換学生の保護者にホストファミリーとなるよう義務づけることはできませんが、派遣長期交換学生の保護者は関心があれば学生を受け入れることもできます。また適切なホストファミリーを探す際に、これらの保護者に援助を求めることもできます。ほかのホストファミリーと同様に、これらの派遣長期交換学生の家庭も慎重に審査します。短期交換プログラムでは、「家族間」で交換を行うことがしばしばあります。このような場合地区は、交換相手の学生の受け入れを学生のプログラムへの参加条件として義務づけることができます。

ホストファミリーを綿密に審査し、責務について明確に説明することが非常に重要です。申請書にプログラム規定と必須条件を明確に記載します。ホストファミリーは、申請書、遵守声明書、経歴照会への同意書に記入し署名しなければなりません。警察の犯罪歴記録の確認や照会を含む経歴照会は、ホストファミリーの成人家族全員に対し行う必要があります。

ホストファミリーを選考する前に、家族全員が在宅中、ホストファミリー候補宅を訪問します。訪問中に、ホストファミリーの責務について確認します。「ホストファミリーの手引き」(749-JA)を一部渡し、プログラムならびに海外からの学生の受け入れに関するクラブまたは地区のその他の情報を提供します。交換開始前と交換中に、事前通知をした家庭訪問と抜き打ちの家庭訪問を行います。抜き打ちの家庭訪問が社会的に認められていない地域では、抜き打ちの家庭訪問の代わりに直前に通知をして訪問するという手段もあります。

ホストファミリーの審査と家庭訪問の際に、以下の問いを検討してください。

- なぜ家族は交換学生の受け入れに関心があるのか。
- 異文化に対して、家族はどのような経験を持っているか（例：海外旅行、職業上の経験、外国語の知識）。
- 交換学生を家族の日常生活にどのようになじませていくか。どのような家事を学生に割り当てる予定か。海外から来た若者に受入国と地域社会についてよく知ってもらうために、どのような活動を家族で補足的に行っていくか。
- 学生との間で困難な問題が起きたとき、ホストファミリーとしてどのように対処するか。学生が健全に過ごせるよう、適切に監督し保護者としての責務を果たすことができるか。言語やコミュニケーションの問題、規律、感情的な問題、カルチャーショックにどのように対処するか。
- ホストファミリーを対象としたオリエンテーションや研修に出席し、義務づけられたロータリーの活動に学生を積極的に参加させる意欲はあるか。
- 家は一般的にどのような状態であるか（清潔であるか、十分な暖房や照明があるか、など）。その家に自分の子供や孫を住ませたいと思うか。学生を受け入れるのに必要な条件はそろっているか（部屋、時間、健康状態）。
- 学生の寝室をどのように決める予定か（学生には学生自身のベッドが必要となる。学生が部屋を共有しなければならない場合、部屋を共有する子供は同性でなければならず、できれば同じ年代の子供とする）。
- 学校への通学やその他の活動場所へ行くには、どのような交通手段を使う予定か。

効果的なホストファミリー

以下のような家族がホストファミリーに最も適しています。

- 思いやりがあり、互いに尊重しあっている。
- さまざまな活動や家庭以外の場所に興味を抱き、多様な話題に関心を持っている。
- 柔軟性がある（新しい家族を迎えることに対する適応性）。
- ユーモアがあり、問題や困難な状況を客観的に捉えることができる。
- 忍耐力があり、よく起こりがちな誤解を克服していく意欲がある。

ホストファミリーの組み合わせ

ホストファミリーがすべての審査を終え、研修要件を満たした後、受入学生との組み合わせを行います。学生とホストファミリーを適切に組み合わせるために、以下を考慮してください。

- 同じような興味を持っている（娯楽、趣味、スポーツ、文化活動）。
- できれば同じ年代の子供がいる（特に学生の最初のホストファミリーの場合）。
- 性格と価値観が適合している。

学生が受入国に到着した直後に最初のホストファミリー宅に学生が滞在できるよう手配し、仮のホストファミリー宅に滞在させることは避けます。

受入学生を担当するロータリアンは、ホストファミリーに支援と助言を提供し、ホストファミリーがその責務について理解していることを確認します。ホストファミリーはプログラム運営や規定のほか、虐待とハラスメントの認識と予防に関する情報を含む研修を受けなければなりません。

ホストファミリーは、プログラムにとって欠かせない存在です。従って、受入クラブのロータリアンは、ホストファミリーと好ましい関係を維持するよう努めるべきです。クラブの行事にホストファミリーを招待したり、直接会ったり、感謝状を送ったりして感謝の意を表明しましょう。交換後、各ホストファミリーに評価書に記入してもらいます。ホストファミリーと関係を培うことによって、今後再び学生を受け入れてくれる可能性も高まります。

時によっては、問題が発生したためにホストファミリー宅でのホームステイを継続できない場合もあります。従って、すべての受入プログラムに、緊急時に学生を受け入れてくれる審査済みのホストファミリーを少なくとも1世帯決めておくべきです。問題を解決する能力や危機下において青少年と協力していく能力に長けた経験豊かなホストファミリーを選ぶようにします。

ロータリアン・カウンセラーの選考

ロータリアン・カウンセラーは、学生と最も緊密に接触するロータリアンであるため、交換の成功にとって非常に重要な役割を果たします。長期交換学生は、複数のホストファミリーと生活することになるため、ロータリアン・カウンセラーが交換中に終始一貫して支援を提供する唯一の存在となります。カウンセラーは、学生が困難に直面しているときに励まし、学校やクラブ、地域社会の生活に学生が積極的に関与していくよう支援できなければなりません。ロータリアン・カウンセラーは、ホストファミリーの家族の一員であってはならず、クラブまたは地区の青少年交換委員長の役職に就いていない人を選びます。

選考の際に検討する点

- **利害の衝突。**問題が起きた場合に、学生がカウンセラーと心置きなく話をできなければならない。
- **性別。**可能であれば、学生と同性のカウンセラーを任命する。学生のカウンセラーが異性の場合、もう1人別に同性の支援者（ロータリアンまたはロータリアン以外の人）を任命する。
- **熱意と意欲。**ほかの受入クラブ会員に求められている以上に、交換に対して時間や労力を注ぐ意欲と能力があるかどうかを判断する。

学生との到着前のコミュニケーション

受入学生のカウンセラーとホストファミリーが任命されたら、以下の歓迎の通知とオリエンテーション資料を送付します。

- 交換年度の全般的な予定。地区会合、特別行事、旅行、その他の活動を含む。
- 最初のホストファミリーの名前と連絡先。
- ロータリアン・カウンセラーの名前と連絡先。
- 受入国や受入地域の一般的な情報（地元の地理、歴史、政治）と文化（口語表現、特定の身振りの意味、習慣的に行われている挨拶、祝祭日の伝統、社会的慣習、信仰や習慣）。
- 気候、服装、学校についての便利な情報。
- 地区の規則、保険加入の義務、緊急用資金の額。
- クラブでのスピーチに関する期待事項。

学生が到着する前に、重要な支援者である最初のホストファミリーならびにロータリアン・カウンセラーと学生が連絡を取り合い、関係を構築していくよう奨励します。これによって、学生が到着後、変化に順調になじんでいくことができます。



受入交換学生のためのオリエンテーション

学生の到着次第、学生全員と会合を持ち、最初のホストファミリーに学生を紹介します。この会合にはロータリアン・カウンセラーが出席することになっていますが、ほかのクラブ会員にもできるだけ多く出席してもらうようにします。到着前のコミュニケーションによって学生とホストファミリーのこの変化に対する懸念が和らぐのは事実ですが、それでも質問や不安がなくなるわけではありません。「相互参加型、ホームステイにおける初日の質問事項」は、交換体験とホストファミリー体験の実用的な情報をホストファミリーと学生に提供します。これらの質問は、家庭の規則に関する問題や、交換初期に取り上げられるべきその他の重要な内容を紹介します。受入学生の多くは、交換が開始された最初の数週間または数カ月間に、受入国での言語に慣れるのに苦労します。従って、質問は学生の母国語と受入国の言語の両方で紹介すべきです。

学生の到着後1週間、または2週間のうちに公式な受入学生のためのオリエンテーションを開きます。オリエンテーションは、1地区、または多地区合同などのグループで、あるいは個人的に開くことができます。

受入学生のためのオリエンテーションでは、以下の内容を取り上げます。

プログラムに関する情報

- 学生のために、受入クラブ、地区、および複数の地区が合同で定めた規則や規定
- プログラムの規則に違反した場合に生じる結果
- 学生が旅行する際の指針と、必要とされる書式と許可
- 毎月の小遣い
- 受入側の地区委員長、地区ガバナー、クラブ会長、ロータリアン・カウンセラーの連絡先

果たすべき任務

- ロータリーの親善使節としての学生の役割
- ロータリー・クラブ例会と地元のロータリーの行事への参加
- 母国との連絡
- 学校への出席と課外活動への参加
- コンピューター、インターネット、Eメールの使用

文化的な事柄

- 地元の慣習や口語表現
- 身振り、個人の空間に対する意識、コミュニケーションの違い
- 性、個人の衛生、時間に対する意識、年長者への敬意

保健と安全

- 青少年に適用される地元の法律や慣習についての情報
- 虐待とハラスメントの報告に関する情報
- 24時間対応の地区の緊急連絡先とロータリアン以外の支援提供者2名(男性、女性各1名)の連絡先
- 地元の医療、歯科、精神保健の専門家の連絡先
- サービスが提供されている場合は、自殺防止ホットライン、性犯罪緊急用ホットライン、児童保護、法執行当局等を含む地元の社会奉仕団体の情報

交換中の支援

交換期間中、ロータリアン・カウンセラーと受入クラブの会員は、学生と定期的に連絡を取り、資金面での必要な手配を行い、次のホストファミリー宅への移動を助けます。

ロータリアン・カウンセラーは、ホストファミリーまたは学校に関する質問や懸念事項について、いつでも学生と話し合えるようにします。このような問題について、ホストファミリー抜きで話し合うための場所を選びます。学生からの電話に応じるだけでなく、ロータリアン・カウンセラーは、少なくとも1カ月に1度、学生に電話をするか直接会って学生とのコミュニケーションを積極的に図るようにします。

カウンセラー、または別の適切なロータリアンが、ホストファミリー宅に学生を訪問し、生活環境が、審査中に同意した環境と一貫していることを確かめます。

文化的な行事や社交行事に学生を招待します。特定の文化的な問題を学生が克服できるよう、必要に応じてオリエンテーションを続けます。地域社会や学生の学校と協力し、学生が建設的な活動に参加して地域の生活に溶け込めるようにします。

学生が以下の連絡先を知っていることを確認してください。

- ロータリアン・カウンセラー
- クラブ会長
- 地区青少年交換委員長とガバナー
- ロータリアン以外の支援提供者2名(男性、女性各1名)
- 地元の医療施設と福祉団体
- 地元の司法当局

交換期間中、学生の派遣地区との定期的な連絡を維持します。

授業料と教材費の支払いに加え、クラブは、学校の昼食や社交行事などの費用を賄うための毎月の小遣いを必要に応じて学生に渡します。小遣いの金額は、国によって異なります。

受入クラブとロータリアン・カウンセラーは、学生が次のホストファミリー宅へ移動するのを助けます。移動をできる限り円滑に行うために、

- 正確な移動日を含め、移動について学生に事前に知らせる。可能であれば、移動前に学生が次のホストファミリーと会い、ホストファミリー宅を訪問できるよう手配する。
- 移動前に、学生と学生の両親または法的保護者に新しいホストファミリーの連絡先を伝える。
- ホストファミリーが変わるたびに、毎回同じ形式で「相互参加型、ホームステイにおける初日の質問事項」を活用した話し合いを含む交流活動を行う。
- 学生の所持品すべてを新しいホストファミリー宅に移動させるのを手伝う。

早期帰国への対処

すべての交換学生のうち、早期に帰国するのは約3パーセントです。このうちの一部の学生は、ホームシック、病気、または母国の家庭問題が理由で早期帰国しています。その他の学生は、交換中に受入国で起きた問題が理由で帰国させられています。学生は、地区青少年交換プログラムの規則に反した理由で、または交換中の地理的・政治的な危機、あるいは健康面や安全面での問題が理由で帰国させられることがあります。しかし、学生が問題（特に虐待やハラスメント）を報告したことだけを理由に帰国させることがあつてはなりません。

学生と犯罪

最悪の事態として、学生が交換中に犯罪に巻き込まれることが想定されます。

学生が犯罪を目撃した、または犯罪の被害者となった場合、早期帰国をするか受入国に残るかは、学生とその保護者が決定します。この選択は、特に性的暴力の被害者にとって重要となります。これは、被害者が犯罪を報告したがために罰として早期帰国をさせられたと考える可能性があるためです。学生が早期帰国することを選んだ場合、帰国の手配をする前に、学生が目撃者として受入国に残る必要のないことを地元の警察当局と確認します。

学生が犯罪で告発されている場合は、地元の警察当局が、学生が受入国を出国することができるか、またはいつ出国できるかを決定します。

プログラム規則に関するオリエンテーションでは常に、規則に違反した場合の結果について焦点を当てるべきですが、規則の違反が必ずしも学生を帰国させる理由とはなりません。

早期帰国は、派遣クラブと地区、ならびに学生の保護者が十分な知識を持った上で、常に慎重に扱わなければならない問題です。早期帰国の理由が何であれ、受入地区と派遣地区が、具体的な帰国手配に同意するまで、また学生の保護者が通知を受けるまで学生を帰国させることは避けます。早期帰国について派遣地区と受入地区の意見が一致しない場合、地区ガバナーに通知し、地区ガバナーが仲裁にかかわるべきです。

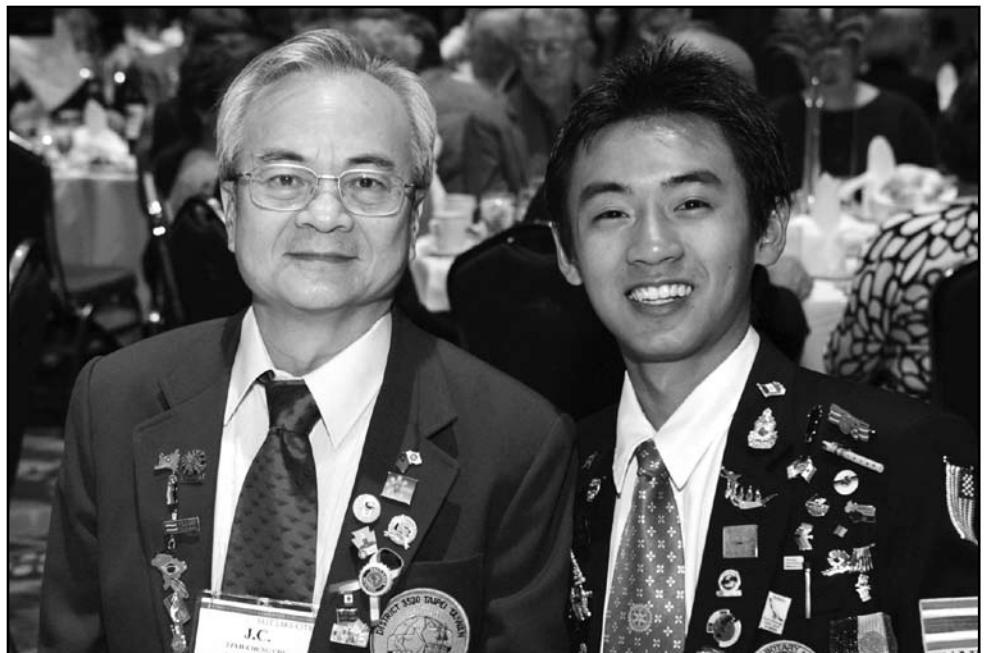
受入学生を早期帰国させなければならない場合、以下の手順に従います。

1. 学生およびロータリアン・カウンセラーと状況について話し合う。問題が最初に浮上ったときの学生への警告、またはホストファミリーに問題が起きた際の仲裁など、早期帰国を避けるためのすべての手段が模索されている、または試みられていることを確認する。
2. 派遣地区の担当者に連絡を取り、学生が早期帰国する理由を正確に伝える。この通知の写しを関連する多地区合同グループにも送る。
3. 学生から保護者に連絡を取らせるようにするか、学生に代わって保護者に連絡することを申し出る。
4. 派遣地区の連絡担当者ならびに学生の保護者と協力し、帰国の旅程を適切に立てる。
5. 学生が出国の手配をするのを助け、ホストファミリーと学校の友人に別れを告げられるよう計らう。
6. 在留資格の変更について政府の関連機関に通知する。
7. 地区ガバナーとRIに、学生が早期帰国したことを書面で伝える。通知には、学生の氏名、派遣地区、帰国日、早期帰国の理由を記載する。
8. 学生が安全に母国に到着したことを確認する。

交換終了

交換終了前の最後の数週間に、受入国でつくった友人との別れや帰国に対して複雑な感情に悩む学生が多くいます。受入側は、この期間ができる限り順調に進むよう学生に協力するべきです。

- **ホストファミリーへ配慮する。**学期末の活動や社交行事で学生が忙しくなるにつれ、自分たちがなおざりにされていると感じ始めるホストファミリーもいるかもしれません。学生の帰国に際し起こりうる葛藤に対しホストファミリーが心構えできるよう援助します。
- **交換を締めくくるための活動を計画する。**受入学生が交換期間中に会った人々に別れを告げるための機会を提供します。学生が帰国する前に、受入国内を旅行する機会を与えているプログラムもありますが、これはすべての交換プログラムで標準的に行われているわけではありません。
- **帰国の最終手配を整える。**学生の保護者および派遣地区と協力し、帰国の最終手配を行います。学生の荷造り、荷物の発送、出国手続きの手助けをします。
- **派遣学生のためのオリエンテーションに学生を招待する。**学生の帰国後、自国から送られた派遣学生のためのプログラムの一部として、帰国した学生のための特別なオリエンテーションを企画します。このオリエンテーションで1年を振り返り、再入国後の手続きや逆カルチャーショックに対する心構えに焦点を当てます。
- **評価を行う。**学生、ホストファミリー、ロータリアン・カウンセラー、その他の関係者を含むプログラム参加者全員にアンケート調査に答えてもらい、今後の交換を改善していくために意見や情報を集めます。



青少年交換の資料

RIが準備している資料は、ウェブサイト (www.rotary.org) からダウンロードまたはご購入いただけます。

- 「虐待とハラスメント防止に関する研修の手引きおよび研修リーダー用手引き」 (775-JA)
ロータリアンが国際ロータリーの青少年プログラム参加者のために安全で保護された環境をつくるための一助として作成された資料。電子ファイルの手引きとスライドが収められたCDを含みます。
- 「交換学生の手引き」 (752-JA)
交換学生とその両親のために、交換に備えるための方法と心構えについて説明した冊子。
- 「ホストファミリーの手引き」 (749-JA)
青少年交換のホストファミリーがあらかじめ承知しておくべき責任事項を説明し、役割に伴う喜びを紹介します。
- 「長期青少年交換プログラム申請書」 (761-JA)
- 「短期青少年交換プログラム申請書」 (763-JA)
- 「青少年交換：世界を前進させる力」 (755-JA)
学生を対象とした推進用パンフレット
- 「世界観を広げよう：短期青少年交換」 (756-JA)
学生を対象とした推進用パンフレット。単独、あるいは「長期青少年交換：世界を前進させる力」に挿入して使用できます。
- 「青少年交換ポスター」 (751-MU)
青少年交換プログラムを交換学生候補者に推進するためのポスター。青少年交換の様子が描かれ、クラブ名と連絡先記入用の空欄が設けられています。
- 「青少年交換絵葉書」 (750-MU)
ロータリアンが青少年交換への参加を推進したり、学生が交換期間中に使用するのに最適な、人目を引くデザインの絵葉書。
- 「青少年交換参加認定証」 (747-JA)
青少年交換が終了した後、交換学生に贈呈する証書。地区が空欄部分に名称を記入するようになっており、地区青少年交換委員長の署名が必要です。

RIのウェブサイトから利用できるその他の資料

- 認可を受けていない地区のリスト
- 青少年ボランティア誓約書
- 相互参加型、ホームステイにおける初日の質問事項

インターネットから入手できるその他の資料

- YEO Talk at Yahoo! Groups
(青少年交換役員のためのYahoo! (ヤフー) グループ用ページ、英語のみ)
- Rotary Youth Exchange Officer Resources
(米国、カナダのロータリー青少年交換役員向けの資料、英語のみ)
(www.yeoresources.org)

用語集

学友 (alumni)

ロータリー青少年交換を無事に終了した青少年交換学生。

経歴照会 (background check)

監督なしで (ほかの成人がいない場所で) 1人または複数の青少年交換学生と直接接するすべての成人ボランティア、またはホストファミリーの成人家族に対して行う審査手続きの一部。通常、警察の犯罪歴記録の確認や照会を含む。

RIの認定プログラム (certification program, RI)

交換プログラムの運営におけるベストプラクティス (最善の実践方法) と青少年保護のためにRIにより設けられた最低基準。RIによる認定を受けた地区のみが青少年交換プログラムに参加することができる。

カルチャーショック (culture shock)

異文化に適応する際に体験する困難。困惑感や疎外感などを伴うことがある。通常、交換開始時に起こることが多い。

地区 (district)

RIの運営管理上の目的で、いくつかのクラブが1つのグループとしてまとめられた特定区域を指す名称。

地区委員長 (district chair)

特定のプログラムまたは分野を担当する地区委員会の代表を務めるために、地区ガバナーより任命されたロータリアン。

地区委員会 (district committee)

特定のプログラムまたは分野に関して地区の運営を管理するために任命されたロータリアンから成る。

地区ガバナー (district governor)

ロータリー地区内で行われるすべての活動の運営を監督するために選ばれたロータリアン。

地区青少年保護役員 (district youth protection officer)

地区青少年交換委員会の委員で、青少年交換プログラムのための青少年保護方針と手続きを管理する責務を担う。ロータリアンが虐待やハラスメントの申し立てを受けた際に、最初に連絡を受ける。青少年保護、社会福祉、法律、または同様の分野で経験がある人を役員に選ぶ。

早期帰国 (early return)

交換が予定通り完了する前に、学生が母国に帰国すること。

ホームステイ (homestay)

学生がホストファミリーの家庭に宿泊すること。

受入 (host)

海外またはほかの地区の学生を自国または自地区に受け入れること。受入クラブまたは受入地区を遂行すること。

ホストファミリー (host family)

学生に宿泊場所を提供し、交換中に学生の家族としての役割を果たすためにロータリー・クラブから選ばれた家族。

受入学生 (inbound)

海外またはほかの地区から受入国または受入地区に訪問する青少年交換学生。

長期交換 (long-term exchange)

学業を含む1年間 (10～12カ月間) の交換。

多地区合同青少年交換グループ (multidistrict Youth Exchange group)

学生の申請手続き、旅行の手配、保険の加入、ビザの手続き、オリエンテーションの実施など交換に関連する諸準備を支援するために、多地区を代表して組織された管理運営母体。

オリエンテーション (orientation)

交換に備えて派遣学生と受入学生が受ける研修。週末をかけて実施されることが多い。

派遣 (outbound)

自分の国または地区から出発する学生を海外の国またはほかの地区に受け入れてもらうこと。

大会前会議 (preconvention meeting)

国際ロータリーの年次大会と付随して (または直前に) 開かれ、特定の主題 (例えば青少年交換) について話し合うための会議。

帰国 (rebound)

交換を終了した学生が帰国すること。

逆カルチャーショック (reverse culture shock)

学生が母国に帰国後、元の生活に慣れていく過程で経験する困難や困惑。

ロータリアン・カウンセラー (Rotarian counselor)

学生と受入クラブとの間の連絡を主に担当するために任命された受入ロータリー・クラブの会員。学生、ロータリー・クラブ、地区、ホストファミリー、地域社会全体の間での連絡役となる。カウンセラーは学生のホストファミリーの一員であってはならない。

ROTEX

青少年交換の学友グループで、親睦、ならびにプログラムの推進活動やオリエンテーションへの参加を通じて青少年交換プログラムを支援するために集まる。公式なRIプログラムではない。

派遣クラブ/派遣地区 (sending club/district)

派遣学生の国のクラブまたは地区。

短期交換 (short-term exchange)

数日間から数週間の交換プログラム。ほとんどの短期交換には、学業プログラムは含まれない。キャンプまたはツアーが含まれることがある。

青少年交換役員 (Youth Exchange officer)

地区またはクラブ青少年交換委員会の役職に任命または選出されたロータリアン。地区青少年交換委員長は、地区の青少年交換役員である。

青少年交換学生 (Youth Exchange student)

青少年交換プログラムに参加する青少年。



ROTARY INTERNATIONAL®

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org